

四国カルスト県立自然公園整備基本構想  
【概要版】

- (1) 四国カルストブランドコンセプト
- (2) 四国カルスト県立自然公園の区域設定による整備構想の策定
  - 【1】 自然体験区
  - 【2】 第1休養園地区
  - 【3】 自然探勝区
- (3) 入込目標
- (4) スケジュール

2020年3月

## (1) 四国カルストブランドコンセプト

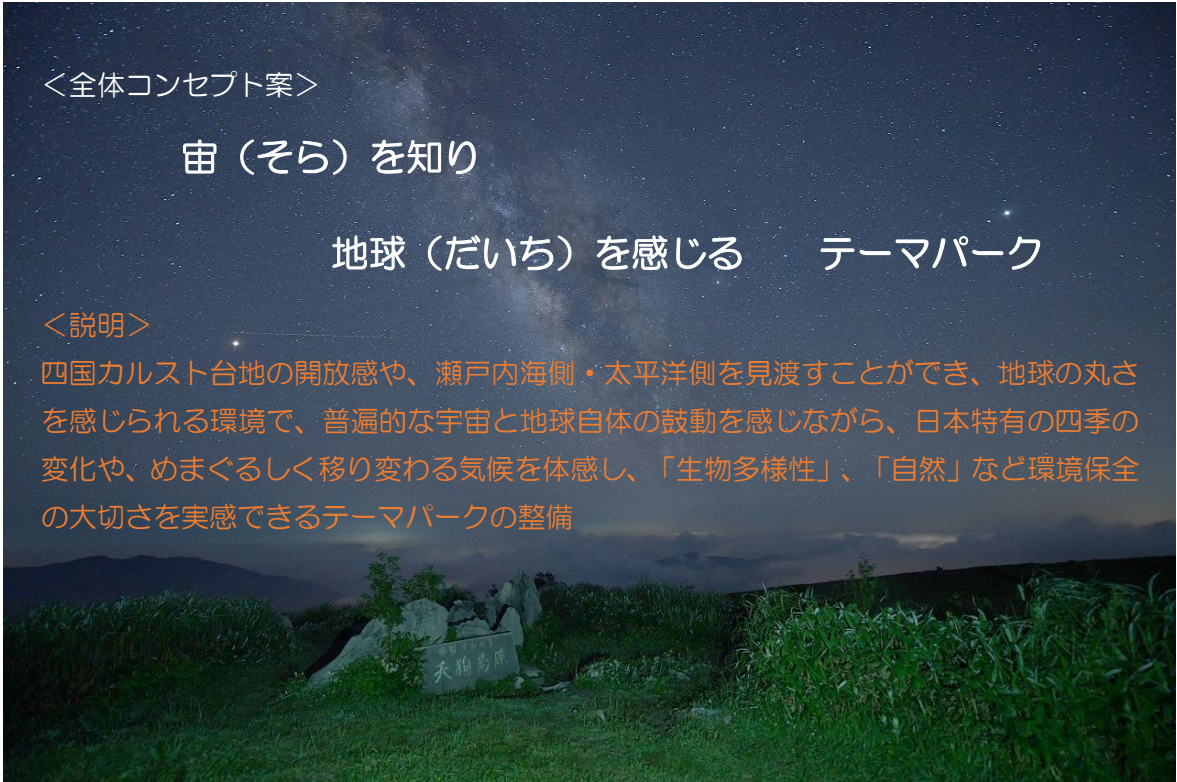
<全体コンセプト案>

宙（そら）を知り

地球（だいち）を感じる テーマパーク

<説明>

四国カルスト台地の開放感や、瀬戸内海側・太平洋側を見渡すことができ、地球の丸さを感じられる環境で、普遍的な宇宙と地球自体の鼓動を感じながら、日本特有の四季の変化や、めまぐるしく移り変わる気候を体感し、「生物多様性」、「自然」など環境保全の大切さを実感できるテーマパークの整備



## (2) 四国カルスト県立自然公園の区域設定による整備構想の策定

横360度、縦180度以上に視界が開けている「標高約1,400mの立地」、四国カルストの「星・雲・霧・花」、季節毎では「春の新緑・夏の避暑・秋の紅葉・冬の雪」をキーワードに様々な形で楽しむことができるよう以下の区域設定により構想を策定。なお、整備構想にあたってはリニューアル後の天狗荘を中心とした各区域を有機的に結ぶ構想としキャンプサイトやバンガローを移設・新築をする場合は夜間の明かりが天文台の観測に影響しないよう考慮した。



## 【1】自然体験区

キャンプサイト・バンガローを主体とした、自然を体験できる区域。

(現施設) ログハウス・キャンプサイト・トイレ・炊事棟・アスレチック  
展望所・遊歩道・休憩所

### ◆キャンプサイト活用案

○ターゲット設定

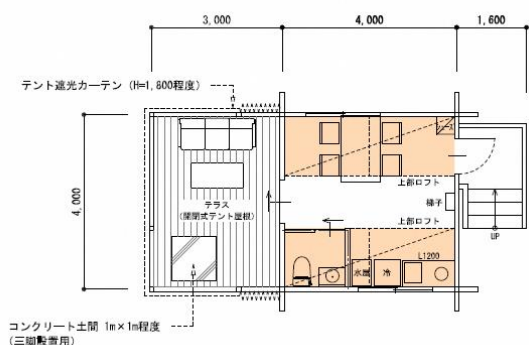
自然を楽しむ夫婦や家族、自然愛好家、アクティブなグループ

○整備の内容

老朽化に伴い 用途を宿泊用ではなく、季節毎の宿泊が楽しめる  
ピクニックデッキ等、日帰り用フリースペースとして活用

### ◆バンガロー

「星・雲・霧・花」の景観を眺望できるよう樹木等調査のうえ周辺樹木を伐採し、既存5棟のコテージ化により快適性を向上。



【2棟】

#### ① 南側2棟「スターリーキャビン」

○ターゲット設定

自然を楽しむ夫婦や家族、カップル、星ファン

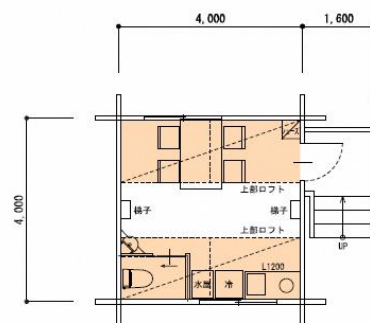
○施設整備内容

テラスを設置し、季節ごとの「星・雲・霧・花」を見る・写真を撮る施設とする

#### ② 北側3棟「ロフティーキャビン」

○ターゲット設定

アクティブなグループ、既存利用者



【3棟】

### ◆既存トイレ棟

○ターゲット

日帰り利用者

○整備内容

既存棟を解体し、トイレの存在がわかるよう現展望テラスの位置へ建築、日帰り利用者用トイレ棟とする。

◆炊事棟（パブリックダイニング）

○ターゲット設定

ロフティキャビン・ピクニックデッキ利用者、アクティブなグループ、家族

○整備内容

既存棟を解体し、日帰りBBQ施設として建て替える。

◆展望デッキ

○ターゲット設定

遊歩道利用者、日帰り利用者

○整備内容

既存棟を解体し、展望デッキを設置

◆その他

上記施設を賄うインフラ整備（上水・下水浄化槽・電気設備）

【2】第1休養園地区

四季を通じて多目的利用ができる区域

◆カルスト学習館

【カルスト学習館コンセプト】

最新技術を活用し天候に左右されず四国カルストの大地（自然・地形）などを楽しく学べる施設。

展望デッキの増改築とカフェの整備によりゆっくりと滞在できるスペースを確保、視察や研修時はカフェを活用（プロジェクターなどの整備が必要）

① 展示室

○テーマ

見て、感じて知識を深めることを楽しむスペース

○ターゲット設定

教育団体・家族・夫婦・カップル

○整備内容

ア、 現在保有する展示物からテーマに沿ったものを選定し展示



イ、 ダイナミックなカルスト台地の魅力を感じ自然の大切さを理解するIOTと各種媒体を活用したコンテンツ

② カフェ、研修などイベントスペース

○テーマ

飲食の提供により展望デッキなどでゆったり過ごせる時間を提供。研修時は落ち着いて学べるスペースを確保

○ターゲット設定

カフェ・・・カップル、大学生

研 修・・・自然団体、公共団体

○整備内容

ア、 プロジェクターによるバックグラウンドビジョンによりゆったりとした時間を提供

イ、 カフェから展望デッキへの動線確保

③ 展示ホール

○テーマ

展示室、カフェ・研修室への動線となるホール

◆イベント広場

自然体験区 の旧アスレチックの代替施設として、低年齢層から30代までを中心とした自然の中で遊べる遊具を整備

○野外ステージ

ステージを補修し星空観賞イベントで活用

○トイレ

現トイレ施設を解体し、カルスト学習館の増築したトイレに集約

【3】自然探勝区

① 雄大な草原を楽しめる区域

(現施設) 遊歩道

照明のない県道のトンネルを回避できるよう現在の遊歩道を遊歩道兼サイクリングロードに整備

自然の趣が崩れることのない舗装素材を活用、ただし、火入れの際に対応可能な素材とする

(3) 入込目標

◆目標人員 (基準年2年目)

日帰り人員 14,400人 (学習館目標人員の1.5倍)

学習館入館人員 9,600人 (H30年実績 4,786人の2倍設定)

宿泊(キャビン)人員 ロフティキャビン 3棟

575人（稼働率5%→15%）  
スターリーキャビン 2棟  
511人（稼働率5%→20%）

#### （4）スケジュール

##### 【1】考え方

優先順位を下記の通り設定する。

- ① 学習館リニューアル  
施設整備・人材育成・コンテンツ開発
- ② イベント広場  
施設整備・コンテンツ導入
- ③ バンガロー周辺整備  
宿泊施設・トイレ・パブリックダイニング・展望デッキ

##### 【2】具体的なスケジュール

###### ・学習館改修

2020年 9月実施設計

2021年 4月工事着工

2022年 4月オープン

###### ・イベント実施

天狗荘リニューアルに合わせる場合

<パターン1>（毎日開催型）

2020年 9月 準備開始

12月～3月 星のソムリエ講座実施 参加

2021年 4月 イベント提供開始

<パターン2>（フェス型）

2020年 9月 準備開始

2021年 8月 開催

###### ・イベント広場・体験区

2020年12月 2021年度 予算

2021年 4月 実施設計

2022年 4月 着工

2023年 4月 オープン